

令和元年度

第3回八王子市環境審議会

令和元年11月7日(木)

本庁舎事務棟3階 特別会議室

八王子市環境政策課

令和元年度 第3回八王子市環境審議会出席者名簿

会 長	奥 真 美
副会長	千 明 武 紀
委 員	櫻 井 達 也
	大 竹 邦 江
	荒 井 富 雄
	大久保 雅 司
	上 村 邦 彦
	池 田 ヒロミ
	横 田 信 博
	荒 井 和 誠

事務局職員	環境部長	三 宅 能 彦
	水循環部長	守 屋 和 洋
	環境政策課長	南 部 か や
	環境保全課長	石 井 正 光
	水環境整備課長	谷 口 哲 也
	環境保全課課長補佐	佐 藤 高 広
	水環境整備課課長補佐	赤 尾 隆 範
	環境政策課主査	星 学
	環境政策課主査	峯 岸 佳代子
	環境政策課主任	三 田 さとみ
	環境政策課主任	堂 本 照 美
	環境政策課主任	松 井 健
	水環境整備課主任	清 水 亨
	環境保全課主事	吉 澤 遼
	環境政策課主事	高 橋 康 平
	環境政策課主事	山 田 涼

令和元年度 第3回 八王子市環境審議会

令和元年11月7日（木）

午後2時00分から

本庁舎事務棟3階特別会議室

次 第

1. みどりの基本計画について
2. 水循環計画について
3. 地球温暖化対策地域推進計画について
4. その他

午後2時00分 開会

○**奥会長** ただいまより、令和元年度第3回八王子市環境審議会を開催いたします。

最初に、委員の出欠状況につきまして、事務局より報告をお願いいたします。

○**星環境政策課主査** 本日の出席状況についてご報告いたします。

まず、事前に欠席のご連絡をいただいている委員の方のご報告をさせていただきます。荒井康裕委員、中島委員、西川委員、沼田委員、鷺谷委員の5名となります。定足数につきましては、15名の委員のうち10名の出席をいただいております、過半数割れをしておりませんので、この審議会は成立しております。

出欠については以上です。

○**奥会長** はい、わかりました。

続いて、配付資料の確認を事務局よりお願いいたします。

○**星環境政策課主査** 配付資料の説明をさせていただきます。

事前に配付させていただきましたものとして、審議会の次第。次に、資料1、八王子市みどりの基本計画（素案）。次に、資料2、八王子市水循環計画（素案）。次に、資料3、八王子市地球温暖化対策地域推進計画（素案）。それぞれ冊子にてお配りしております。次に、八王子市みどりの基本計画と、八王子市地球温暖化対策地域推進計画の改定についての答申案もお配りしております。

次に、当日配付資料といたしまして、資料2の追加資料として水循環計画の101ページから106ページまでをカラーで印刷したものと、追加資料2として、水循環計画63ページの修正資料になります。次に、資料3の追加資料として、地球温暖化対策地域推進計画の33ページと34ページのもの1枚、もう1枚が37ページと38ページのもの、こちらは差し替え資料としてお配りしております。最後に、八王子市水循環計画の改定についての答申案をお配りしております。

資料の説明については以上です。

○**奥会長** ありがとうございます。

前回のご意見とそれに対する対応の資料も事前にお送りいただいておりますよね。

○**星環境政策課主査** はい。お送りしておりますので、本日の資料は素案となります。

○**奥会長** ただいま説明にありました資料ですが、全てお手元にごありますか。何分種類が多いですけれども、大丈夫でしょうか。

不足などございましたら、おっしゃっていただければと思います。

それでは、早速次第に従いまして進めてまいります。

本日は、本年3月に諮問を受けました、みどりの基本計画、水循環計画、地球温暖化対策地域推進計画の三つの計画の素案に関しまして答申を行ってまいります。その前提で、前回いただいたご意見を踏まえて事務局が各案、計画について修正を加えてくださっておりますので、その部分について説明をまず伺って、委員の皆様のご意見等を改めて伺う、その素案の内容について確定をしていくという作業をしていきたいと思っております。

素案がある程度固まりましたら、答申案もご確認いただいて、そちらも固めていくという流れで進めて参りたいと思っております。

では、まずは、次第の1、みどりの基本計画の素案について、前回いただきました審議会でのご意見を反映した部分について、事務局から簡潔に説明をしていただきたいと思います。

環境保全課長、よろしくお願いいたします。

○石井環境保全課長 環境保全課長の石井でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、前回の環境審議会でのいただいたご意見を反映した部分についてご説明をさせていただきます。

2点ございまして、まず、1点目、53ページをご覧ください。内容としましては、東京都里山保全地域の写真が掲載されているが、東京都緑地保全地域などでは市民が活動している場所もあるため、それらの独自の写真も掲載すべきというご意見をいただきました。53ページの下の部分をご覧くださいと思いますが、市内の東京都緑地保全地域や公園緑地では、市民、NPOなど多くの団体が主体的に活動しております。そのため、市民主体による保全活動については、コラムとしてご紹介するとともに、写真の追加をしております。

続いて2点目、資料編の27、29ページをご覧ください。街区公園、近隣公園、地区公園について1カ所あたりの標準面積を記載すべきというご意見をいただきました。

27ページの街区公園は0.25ha、近隣公園が2ha、29ページの地区公園は4ha、このように記載をいたしました。

いただいたご意見と修正箇所については以上となります。

○奥会長 ありがとうございます。

ただいまのご説明について、前回いただいたご意見、特に副会長からいただいた2点を踏まえての修正が加えられておりますけれども、いかがでしょうか。

○千明委員 申し上げた内容を取り入れていただき、ありがとうございます。

○奥会長 よろしいですか。ほかはいかがでしょう。

それでは、前回頂戴いたしましたご意見を踏まえての修正も加えられているということで、素案としましては、こちらで確定をしたいと思いますが、よろしいですか。

(はい)

○奥会長 ありがとうございます。

続きまして、みどりの基本計画にかかわる答申書の内容について、確認をしていきたいと思えます。事前に送付いただいている、八王子市みどりの基本計画の改定について(答申)をご覧くださいければと思えます。

こちらについては、事前に事務局から皆様に送付されておりますので、内容についてはお目通しいただいているかと思えますが、何かこの場でご意見等があればと思えます。事前に事務局に寄せられているご意見はございましたか。

○星環境政策課主査 特にありません。

○奥会長 では、この場で何かございますでしょうか。四つの柱でまとめております。

1としましては、みどりの多面的機能に着目した新たな課題。特に近年の自然災害の頻発といったようなことも念頭に置いたみどりの機能を生かしていくといったようなこと、それを踏まえた計画内容の見直しを行っていただきたいというのが1のところに記載されております。

2につきましては、国内外の動向を踏まえて見直しを行うということ。

3は、市民等にわかりやすい計画とするために工夫をしていただきたいということ。

4は、市民等の意見を聴取する機会を設けた上で、その内容を適切に踏まえた計画内容にすることということで、4本でまとめております。

いかがでしょうか。よろしいですか。

(はい)

○奥会長 ありがとうございます。

それでは、内容をご確認いただきましたので、八王子市みどりの基本計画の改定についての答申書は、このまま修正なしで確定させていただいてよろしいでしょうか。

(はい)

○奥会長 ありがとうございます。では、そのようにさせていただきます。

みどりの基本計画についてはこちらで終わりとなります。ありがとうございます。

○石井環境保全課長 ありがとうございます。

○奥会長 続きまして、次第の2、水循環計画について、こちらの素案に対しまして前回の審議会でのご意見を反映した部分について、水環境整備課長から簡潔に説明をお願いいたします。

○谷口水環境整備課長 水環境整備課長の谷口です。よろしくお願いします。

前回いただきましたご意見のまず1点目ですが、地下水の利用について、災害時など具体的な利用の内容が理解できるようにしたほうが良いというご意見をいただいております。こちらにつきましては、素案の40ページになりますが、地下水の保全と適正利用というところで本文に記述を追加させていただき、さらにその下のイ、地下水のモニタリングと適正な利用ということで、本文の修正をさせていただきました。

2点目になりますが、節水についての記述が1行しかないということで、水の有効利用として啓発すべきというご意見をいただいております。こちらにつきましては、素案41ページの4)になりますが、タイトル及び本文を修正し、バーチャルウォーター等の記述をさせていただいています。

3点目ですが、ハザードマップにおける浸水高を現地に表示したらどうかというご意見をいただいております。現在におきまして、市にそういった計画はございませんが、検討課題として考えております。

治水対策といたしましては、国や都の河川整備の推進及び市の水路整備や雨水浸透などの流域対策、並びに情報提供や被害にかかる手順や水防体制において対応する総合的な治水対策を今後も進めていくことで、施策展開を行いたいと考えております。

本日は、整理・検討した内容をお示しすることができませんでしたが、関連所管と調整をとり、市として責任を持って対応したいと考えております。

また、CODの扱いについて、本文中に記載がなければ用語欄から削除したほうがよいのではないかとご意見をいただきましたが、内容を精査したところ、コラム欄でCODという表記がございました。そのため、用語解説でもそのまま残させていただきたいと考えております。

次に、イラストや写真、資料の活用につきまして、担当からご説明させていただきます。

○赤尾水環境整備課課長補佐 水環境整備課の赤尾と申します。よろしくお願いします。

イラストや写真の修正につきまして、本日の会議に間に合わず申しわけありません。

パブリックコメントで修正したものをご覧いただくこととさせていただきますので、ご理解よろしくお願いたします。

61ページ、62ページをご覧ください。イメージ図でパラソルについてのご指摘をいただいておりますが、現状、ピンでお示したものを掲載しております。

追加資料2をご覧ください。65ページ以降の湧水の掲載の順番についてご指摘がございましたが、湧水の整備や涵養域での設定で、これまでに取り組んできたものを前ページに記載しているため、63ページのイメージは、番号表示のないものといたしました。

続きまして、追加資料1をご覧ください。水収支につきまして掲載内容を修正いたしましたので、本日配布のカラー刷りの資料にて簡単にご説明させていただきます。

人口の変化グラフにつきましては、最新のものに修正させていただきました。新たに掲載した図ですが、現在の土地利用の標高、降雨の状況、今後を想定した表面流出量、蒸発散量、そして、浸透量を図にしたものを掲載いたしました。雨水浸透の効果としては、今後目標とする公共下水道区域を対象とした時間あたり10ミリの降雨を抑制する対策が66%完了したイメージと、100%完了したイメージを見ていただけるように作成をいたしました。

また、地下水の流動イメージを掲載いたしました。地下50メートルにおける地下水が北東に誘導する資料で、八王子で涵養した地下水の行方を知っていただく趣旨でございます。

以上が追加資料についての説明とさせていただきます。

○**奥会長** 前回ご指摘のあった3点目のハザードマップの浸水高を表示したらという点については、まだ検討中ということで具体的な修正案は出てきていませんが、今後、関係課と調整する中で、修正はなされていくということによろしいですか。

○**谷口水環境整備課長** 計画の修正ということではなく、総合的に治水対策の中で施策展開を考えていきたいということになります。

○**奥会長** 計画の中に何か手を加えるということではないということですね。わかりました。それから、CODについて、コラムは何ページですか。

○**谷口水環境整備課長** 36ページに「あなたの川はきれいですか？」という水質調査のマップが掲載されているのですが、この中にCODという表記がございます。

○**奥会長** 川のきれいさ（COD）というものです。わかりました。

イメージということで、最終的にはカラー刷りで挿入される図についてのご説明もあ



りましたけれども、ただいまのご説明についてご意見などございますでしょうか。

どうぞ、荒井（富）委員。

○荒井（富）委員 この間の台風で、恩方地区だったと思いますが、一日の降雨量が600ミリになっています。西側は平均で500ミリ以上の降雨量を一日で記録しています。追加資料を見ると、年間雨量で何ミリという形で出ていますが、年間の降雨量が大幅変わってくるのではないかという気がするのですが、この間降った600ミリぐらいを想定しても、このぐらいの年間雨量の計算でよろしいのですか。

○奥会長 恐らく違ってきますよね。

事務局いかがですか。1981年から2010年の平均ということで、期間を区切って出されているものという前提になっているわけですが。

○赤尾水環境整備課課長補佐 はい。平均になります。

○櫻井委員 こういった気象というのは、30年の平年値でとられるものが多く、次に更新されるのが来年度になります。そのため、現状で出せるデータとしては、この1981年から2010年の30年データが、平年値としては一番新しいデータになるのです。確かに、昨今の温暖化を考えると少々違うとは思いますが、現状、平年値のデータとして出すのは、この30年データがいいのではないかと考えています。そのため、文章の中で統計期間が30年と示されていますけれども、平年値という言葉が使われたほうがいいのではないかと思います。

○奥会長 では、そこはその期間の平年値を用いてということですね。

○櫻井委員 そうですね。

○奥会長 平均値という言葉も出てきていますが、平年値ですか。

○櫻井委員 はい。アメダスの気象では、平年値という言い方をされます。

○奥会長 そうですか。そこは確認していただいて、適切な表現でお願いいたします。

○赤尾水環境整備課課長補佐 はい。ありがとうございます。

○奥会長 荒井（富）委員、よろしいですか。

○荒井（富）委員 来年改定するのであれば、古いデータは使わないほうがいいのではないかと思います、仕方がないですね。

○奥会長 データとしては仕方がないですね。ただ、対策としては当然、近年の激化している自然災害、もしくは気象現象を踏まえた計画内容としてもらいたいということで、後ほど見ていただきますけれども、答申書の中にはそのような内容が記載されています。

○荒井（富）委員 予測できないような数値が次々と出てきているので、30年前のデータでは話になりません。

○奥会長 データとしては致し方がないにしても、対策としては近年の傾向をきちんと踏まえてということで計画内容は検討していただきたいので、答申書のほうには盛り込んでいます。よろしいですか。

ほか、いかがでしょうか。

○櫻井委員 よろしいですか。

○奥会長 はい、どうぞ、櫻井委員。

○櫻井委員 資料3、八王子市地球温暖化対策地域推進計画（素案）に、近年の降水量の経年変化という事例が出ています。

○奥会長 何ページですか。

○櫻井委員 13ページになります。

ですので、平年値は載せておいて、あわせて資料3にある降水量の経年変化を載せれば、平年値とあっても、昨今の降水はかなり違った傾向で増えているというようなことも示せるのではないかと思います。

この辺の図をうまく共有されたらいいのではないのでしょうか。

○奥会長 確かにそうですね。

○櫻井委員 メッシュデータとしては、1981年から2010年のデータを出すしかないと思いますが、別なアプローチとして、さらに降水量が増えているので、もっと注意が必要だということを記載していけるとと思います。

○奥会長 資料3の13ページの図ですと2017年までとなっていますが、これが最新になりますか。

○南部環境政策課長 はい、これが最新です。

○櫻井委員 確定値としては2年ですね。

○奥会長 ですから、どうしてもつい先日のそれこそこれまでに経験したことの少ない量というのは、あわせないですね。

○荒井（富）委員 新聞に発表されたのは、市役所のデータですよ。ですから、400何ミリと出ているのですよね。

○三宅環境部長 500弱だったと思います。

○奥会長 資料3の13ページにある経年変化のグラフですと、ここ数年で増えているか

というと、そういった危機感を抱かせるようなグラフにはなっていないので、あまり意味がないかもしれません。

○荒井（冨）委員 年間よりも、とにかく一日の降雨量が多いというのが現状です。

○奥会長 データとしては、いずれにしても確定値しか使えませんので、致し方ないにしても、そういった危機意識を持って対応していくということをあらわす必要があるということですね。

○大久保委員 平均でならしてしまうと数字が見えませんが、資料3の13ページ左下にある滝のように降る雨の回数の将来変化というグラフが、まさに1回でたくさん降る回数をあらわしているもので、将来的には増えるという予測値ではあるけども、そういった集中豪雨みたいなものが増えますよということは示せるかもしれないですね。

○奥会長 そうですね。

○大久保委員 降水量の経年変化のグラフでは、むしろ減っているのではないかという話になってしまう。13ページの上段一行目にもこれまでに大きな変化傾向は確認できていません。と書いてしまっているから、なかなか激甚化をうまくあらわすことができません。13ページの滝のように降る雨の回数の将来変化のグラフは、間違いなく激甚化が見えます。

○櫻井委員 そうですね。図ではなくて、文章で書くというぐらいでおさめてもいいかもしれないですね。

○谷口水環境整備課長 資料2の素案86ページですが、図資-3に載せているグラフが年最大時間雨量の変化ということで、直近の平成30年までのデータになり、こういった傾向にありますということでお示ししているものになります。それを見ると、やはり傾向としては増加の傾向が見られることになります。

○奥会長 よろしいでしょうか。86ページに増加傾向は示されているということ。

○谷口水環境整備課長 追加で大変恐縮ですが、同じ86ページの上段4行目に、令和元年台風19号ではということで、1時間あたり最大47ミリで総雨量400ミリを超えていますというような記述をさせていただいております。

○奥会長 ここに文章で表現していただいている。よろしいですか。

○荒井（冨）委員 実は、防災課にもこの400ミリで物事を考えると、山間部に600ミリ以上の雨が降るようなことになると、400ミリ対応の防災計画は無になるということを行いました。

確かに、気象庁の関係では、ここのデータを使わなくてはならないということですが、  
れども、そういった経緯で質問をしました。

○**奥会長** 水循環計画の中では、こういった対応にならざるを得ないのかと思いますが、  
防災のほうでは、また別途、地域防災計画で何をどこまで想定するのかというところが  
検討されると思います。

○**荒井（冨）委員** 千曲川の流域も、200ミリぐらいで災害になったということなので、  
八王子はそこまで広くはないけれども、やはり考えていかなければいけないのかな  
と思います。

○**奥会長** 荒井（冨）委員のご意見については、所管課にこのようなご意見が環境審議会  
でも出されましたということをごきちんとお伝えいただいて、ご対応をお願いしたいとい  
うことでよろしく願いいたします。

それでは、今、ご意見はありましたけれども、近年の雨量については、86ページに  
文章でも表記されているということですので、このままの素案の提案どおりでよろしい  
でしょうか。

先ほどの平均値、平年値という言葉については、適切な言葉をご確認いただいて、必  
要に応じて修正をお願いします。

○**赤尾水環境整備課課長補佐** はい。わかりました。

○**奥会長** そこを踏まえた上で、このとおりでよろしいですか。

では、素案はこちらでお認めいただいたということにさせていただきます、答申案  
に移らせていただきます。

八王子市水循環計画の改正について（答申）というタイトルの1枚紙、そちらをご覧  
ください。こちら事前にお目通しいただいているかと思いますが、4本の柱で答申内  
容をまとめてあります。

一つは、水循環基本法、これが平成27年に施行されておりますので、この理念を踏  
まえた計画とすること。

そして、二つ目が、こちらは先ほどのご指摘にもかかわりますが、温暖化による気候  
変動から台風の大型化、激甚化、それから局所的豪雨の増加が起きてきているとい  
うことを踏まえて、水防対策についても十分に検討・整理し、計画に反映させていただき  
たい旨を記載しております。

三つ目が、こちらは先ほどのみどりの基本計画とほぼ同じですが、市民等にわかりや

すい計画としていただきたいということ。

四つ目も同様に、市民等の意見を聴取する機会を設けた上で得られたご意見を踏まえた内容の計画にしていきたいということでございます。

この内容でいかがでしょうか。よろしいですか。

(はい)

○**奥会長** ありがとうございます。

それでは、この答申書につきましては、修正なしでこのまま確定とさせていただきます。ありがとうございました。

続きまして、次第の3、地球温暖化対策地域推進計画の素案について、前回の審議会でのご意見を反映した部分につきまして、環境政策課長から簡潔に説明をお願いいたします。

○**南部環境政策課長** よろしく申し上げます。

では、地球温暖化対策地域推進計画の素案と、参考資料でお送りしました反映事項一覧の二つの資料を使ってご説明いたします。

まず一つ目が、5ページの(3)対象とする温室効果ガスの表の中で使っています、地球温暖化係数について説明が必要ではないかというご意見をいただきました。そのため、この表の下に米印にて説明を加えております。

次に、隣の4ページ、(2)対象部門のところ、産業部門、民生家庭部門などと並んでいますが、21ページをご覧くださいますと、民生(家庭系)などと記載しております、表現の統一がとれておりませんでしたので、こういった表現の不統一について、全て統一をいたしました。

あわせて、36ページの重点プロジェクト2に、事業者における環境配慮行動の推進とありますが、この事業者という言葉も事業所、事業者といった不統一がありましたので、事業者という言葉で統一を図っております。

21ページに戻ります。(1)削減目標の表があり、その下の説明2段落目に7ガスのうちの6ガスについての説明が加えてあります。ここにつきましては、当初、21ページの一番最後にありましたが、6ガスの扱いが分かれているとわかりにくいという指摘がございましたので、場所をここに移して、7ガス全ての取り扱いがまとめて表記されるようにしております。

次に、26ページの指標で再掲しているものがありましたが、再掲という表示がござ

いませんでしたので、(再掲)と追記いたしました。

また、この表の一番右端に進捗状況の欄がございます。マルについては順調に進んでいる、バツについては遅れているものになりますが、この表記があったほうがよいというご意見をいただきましたので、ここに追記をいたしました。

次に、31ページの一番上の表の四つ目に、電球形蛍光ランプをLED電球に交換する。を追加いたしました。家庭での取組としてはこういった交換が多いのではないかと、必要ではないかというご意見をいただきましたので、ここに追記をいたしました。

次に、33ページの事業者ができる取組で、事業所建物内での取り組みについてのみ記載をしておりましたが、建物の外でもできる取り組みがあるのではないかとご意見をいただきました。そのため、33ページの下から四つ目に、充電設備など環境負荷を低減する設備の導入ということを追加し、それとともに照明の取組の内容の表現を、環境負荷を低減する設備の導入ということで内容に合った表現に変えております。

次に、35ページの取組内容に、国及び都の補助金等に関する情報を発信し、家庭の省エネを促進します。を追加いたしました。

今、東京都で始まっているゼロエミポイントといった取組を載せてはどうかというご意見をいただきましたが、それだけに特化せず、さまざまな都の制度を活用していくところは、実際に市としても重点的に行っていこうと考えておりますので、都や国の制度が変わっても使っていけるように幅広い表現で加えております。

次に、46ページの重点プロジェクト7環境教育・環境学習の推進ですが、成果指標、目標値がもう少し高くてもよいのではないかとご意見をいただきました。しかし、こちらの目標値については、昨年改定を行いました第2次八王子市環境基本計画にあわせているため、こちらに載せる目標値についてはこのままとさせていただきます。ただ、いずれの指標についても目標値に上限をせずに取り組んでいく考えではあるため、しっかり取り組んでいきます。

次に、34ページから始まる重点プロジェクト1、2、3ですが、重点プロジェクト1で市民一人あたりの二酸化炭素排出量を目標にしているので、プロジェクト2もそのような数値目標にしてはどうかというご提案をいただきました。しかし、二酸化炭素排出量につきましては、この計画全体の目標としております。ですので、むしろ重点プロジェクトの指標は二酸化炭素の排出量でないものにしていこうという方針ではありましたが、市民一人あたりの二酸化炭素排出量は、現在の計画でも目標としておりますので、

その後の推移を見守っていきたいということもあり、また、市民一人あたりの二酸化炭素の排出量をどこかで見せていったほうが、市民の皆様が身近なところの目標値としてわかりやすいのではないかというご意見もありましたので、目標、指標としてはプロジェクト1のみ二酸化炭素排出量とし、2、3については、このままの成果指標とさせていただきます。

次に、38ページを初めとして、指標に略語が幾つか載っており、略語の解説が必要ではないかというご意見をいただきました。現在の素案ではまだ添付しておりませんが、巻末に、資料編として用語解説を加えていく予定でありますので、その中で略語についてはご説明をしていきます。

最後のゼロエミポイントについては、先ほどご説明したとおり、幅広い表現で重点プロジェクト1に追加をしております。

また、37ページの構成する主な取組に、取組の柱が3本あります。このうちの二つ目が、事業所の省エネ化の推進になっていると思いますが、これを本日お配りしました追加資料の37ページにありますように、事業所における環境負荷の低減と修正いたします。ここに書かれております取組内容は、省エネ化の推進だけではなく、もっと幅広い取組となっておりますので、そこに合わせた表現に修正いたしました。

前回からの修正箇所につきましては以上です。

会長、よろしく申し上げます。

○**奥会長** 前回いただきましたご意見を踏まえての修正箇所について、今、ご説明いただきましたが、何かご意見などございますでしょうか。

どうぞ、櫻井委員。

○**櫻井委員** 21ページのところで、6ガスと7ガスというご説明があったのですが、もう一度ご説明していただいてよろしいですか。

○**奥会長** はい。お願いします。

○**南部環境政策課長** (1)削減目標の中では、まず温室効果ガス7種類のうち、二酸化炭素だけを削減目標としますという説明があり、その後に、残りの6ガスについてどうするのかというのが書いてあります。6ガスについては、市独自の対策を立てるというよりは、国、都と連携したほうが効率的になるため、そちらと連携し、対策を進めていくとしています。しかし、前回の審議会でご提示した案では、この説明が21ページの一番下にありました。そうすると、7ガスのうち二酸化炭素のことが上であり、残

りの六つのガスについては、21ページの一番下にありわかりにくいというご意見をいただきました。(1)にまとめることで、7ガス全てが理解できる説明に文章を変えたというところです。

○櫻井委員 わかりました。

○奥会長 大丈夫ですか。

○櫻井委員 6ガス、7ガスという言い方は、京都議定書のときは6ガスで、その後は7ガスという言い方だったので、勘違いをしていました。これで大丈夫だと思います。

○奥会長 よろしいですか。

○南部環境政策課長 ありがとうございます。

○櫻井委員 もう一点、5ページの地球温暖化係数の説明ですが、これではないほうがいいと思います。単純に二酸化炭素を1とした場合の100年間での温室効果というような説明だけでいいと思うのです。

確かに、20年や50年、500年といったものもありますが、そこを市民にあえて伝える必要はないと思うので、この見積期間の長さによって云々というのは逆に混乱を招くのではないかと思いました。

○南部環境政策課長 わかりました。

○櫻井委員 放射強制力も見積期間によって変わってくるため、そこと混同しがちになってしまうのではないかと思うので、単純に二酸化炭素を1とした場合という説明でいいと思います。

○南部環境政策課長 はい。わかりました。参考にします。

○奥会長 そのほうがわかりやすいですね。

○櫻井委員 私の先ほどの発言を訂正いたします。気象庁の平年値の発表が来年度と申し上げたのですが、再来年度の間違いです。毎年、下一桁1の年に過去30年分になりますので、再来年度2021年のときに過去30年分になります。

以上です。

○奥会長 ありがとうございます。

では、5ページの地球温暖化係数の説明文については、二酸化炭素を1とした場合、2ということのほうがわかりやすいですね。

○南部環境政策課長 そうですね。ありがとうございます。

○奥会長 温暖化への寄与度の違いをあらわすものということがわかるように修正して



いただくということをお願いいたします。

また、26ページの表ですが、もう少し字を大きくしていただいたほうがいいかもしれません。米印の数字も小さくなってしまっているのので、全体的にポイントを大きくしていただいたほうがよろしいかと思えます。

○南部環境政策課長 ありがとうございます。

○奥会長 先ほどのご説明にはなかったかと思いますが、34ページの市民一人あたりの二酸化炭素排出量は、市内の事業者が排出した分も含めて、地域で排出されている温室効果ガスの二酸化炭素総量を市民で割った数値ですか。

○南部環境政策課長 はい、総量です。

○奥会長 これだけで見ると、家庭部門から出た二酸化炭素排出量を人口で割ったかのような印象を与えてしまうので、算定式を入れておいていただいたほうがいいと思えます。

家庭部門は、これまでの経年変化を把握する意味で事業者分も含めた数字になっているため、事業者のほうには事業者・事業所あたりの指標は入れないということだったと思えます。その算定式をきちんと入れていただかないと、誤解を生む可能性があります。

○南部環境政策課長 環境基本計画のときにも、指標の下に計算式を入れる手法をとりましたので、同じように対応いたします。

○奥会長 ほかはいかがでしょうか。よろしいですか。

では、この地球温暖化対策地域推進計画につきましては、5ページの温室効果ガスの排出係数の注意書きを修正していただくことと、26ページの進捗状況を示した表のポイントを大きくしていただくこと。また、34ページの市民一人あたりの二酸化炭素排出量の計算式を入れていただくこと。この三つの修正を加えるという前提で、内容についてはご了承いただいたということによろしいでしょうか。

○大久保委員 33ページの環境負荷を低減する設備の導入と加えていただいた表現は、資料3の追加資料に差し替えるということですね。追加資料のほうがより具体的でわかりやすいと思ったので、こちらを生かしてもらいたいと思いました。

○奥会長 そうですね。社会インフラと言ってしまうとあまりにも大きく、事業者にそこまで求めるのはというのはありましたので、このような修正となります。よろしいですか。

○大久保委員 こちらがいいと思えます。

○**奥会長** ありがとうございます。

では、今、申し上げたとおり、3カ所修正をするということで、内容についてはご了承いただいたということにさせていただきますが、よろしいでしょうか。

(はい)

○**奥会長** ありがとうございます。

それでは、続きまして、地球温暖化対策地域推進計画の答申についてご確認いただければと思います。

こちらは、5本の柱で答申案をまとめております。

まず、一つ目は、国の動向等を見据えた計画とする。国といたしますか、国内外の動向を踏まえた計画の見直しを図ること。特に、いわゆる温室効果ガスの削減策のみならず、適応策、こちらについても踏まえて検討を加えていただきたいということが入っております。

二つ目としましては、効果的な削減目標を設定するというので、具体的な目標値を設定することを求めているというのが2点目。

三つ目が、新たな政策課題への対応ということで、環境教育・環境学習の一層の推進、再生可能エネルギーの利活用の促進といったようなこと。それから、上位計画である環境基本計画の改定を受けまして、基本目標の達成に向けた取組をさらに推進していく必要があるため、取組の効果を的確に把握、評価できるように、成果指標についても見直しを加えていくということまとめております。

四つ目と五つ目については、ほかの計画の答申とほぼ同じ内容になっておりますが、市民、事業者にわかりやすい計画としていただくということと、市民意見等を踏まえた計画内容にしていきたいということでございます。

4と5の市民等のタイトル部分が、ほかの計画の答申と違ってしまっていますね。そろえますか。

○**南部環境政策課長** こちらの答申5で、市民意見の計画への反映となっているところを変更します。

○**奥会長** 市民等の意見の反映にしますか。

○**南部環境政策課長** ありがとうございます。

○**奥会長** ほかの計画の答申と全体を並べて見なかったため見落としがありました。副題のところを他の答申書と同じにさせていただきます。

○荒井（富）委員 4と5に等を入れるということですね。

○奥会長 はい。4が市民等にわかりやすい計画としまして、5が市民等の意見の反映になります。

水循環計画の改定についても、4が市民等の意見の反映ということで、変えさせていただきます。

では、内容としてはよろしいでしょうか。

○南部環境政策課長 ありがとうございます。

○奥会長 みどりの基本計画の答申に、表現は合わせていただくということでよろしいでしょうか。

それでは、一通り三つの計画素案と、それに対応した答申書についてご確認いただきました。何かほかにご意見などございますか。

答申の文章に修正が加わりますので、この修正は事務局のほうで作業をお願いします。

最後に、次第の4になりますが、事務局から何かございますでしょうか。

○南部環境政策課長 本日はありがとうございました。

3計画について、本日ご意見をいただきましたので、こちらの修正については反映して、審議会の素案とさせていただきます。

その後ですが、市の政策の重要事項を図る会議である政策会議がございまして、そちらに対して本日の素案を諮っていくのですが、修正が生じる可能性があります。その内容につきましては、会長にご報告をさせていただき、進めさせていただくということでよろしいでしょうか。

会長へご報告後、パブリックコメント用の資料が固まりますので、皆様に最終案としてお送りすることになります。

○星環境政策課主査 確認は会長にとらせていただいて、修正内容については皆様にもお送りさせていただきます。

○奥会長 はい。わかりました。それでよろしいでしょうか。

(はい)

○奥会長 では、そのようにお願いいたします。

○星環境政策課主査 会議録の署名についてですが、今回は横田委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○横田委員 はい。

○星環境政策課主査 以上です。

○奥会長 ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和元年度第3回八王子市環境審議会を閉会させていただきます。

午後2時58分 閉会

令和 2年 1月14日	署名人： 横田 信博
-------------	------------